

参加者 各位

一般社団法人日本スイミングクラブ協会  
障害者水泳委員会・事業企画委員会

## 「グリコチャレンジスイム2022 第12回JSCA全国知的障害者水泳競技大会」 二次要項

この度は表題競技会にお申込み頂き誠にありがとうございます。安全に楽しめる大会運営を行うために皆様のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

なお、出場チームの責任者は、必ず出場者全員にご連絡頂きますよう重ねてお願い申し上げます。今大会も、新型コロナウイルス感染対策を取りながらの大会運営となります。対策等は（別紙1）をご確認ください。

### 1. スケジュール

	12月17日(土)：大会前日	12月18日(日)：大会当日
入場（2階入り口）・受付	13：45～	7：15～
アップ	14：00～17：00	7：30～9：00
公式スタート練習	前日練習では行いません。	8：20～8：50
開会式	*****	9：10～9：25
競技開始	*****	9：40
競技終了	*****	15：41
リレーオーダー変更提出締切	*****	9：00
閉会式	*****	15：50
記録証・メダル受取終了時間	*****	16：30
退館時間	17：30	16：50

**\*「2階入り口」から入場すること。その他の入場口は使用しない。**

### 2. 駐車場について

- (1) 駐車場は別紙をご確認ください。
- (2) 路上駐車、路上での乗降は絶対に行わないこと。他者とのトラブルをはじめ、通報・レッカー移動等全てのトラブルに対し、主催者及び会場側は一切責任を負わない。なお、大会当日は警察が巡回する予定である。また、ルールを守らない保護者については各所属クラブが責任をもって対応することを承諾した上で、本大会に参加すること。

### 3. 前日練習について

- (1) プールへの入場人数制限は無い。
- (2) 会場内すべての場所で密を避けるように注意し指定時間内で利用する。
- (3) 引率者（付添者）もプールサイドへの入場は可能とする。但し、裸足で入場すること。
- (4) 退水後は速やかにマスクを着用すること。体操時もマスクを着用すること。
- (5) 前日練習は施設の利用規約に則り、利用すること。
- (6) 前日練習で入場する際は、同封の「健康チェック表」を受付に提出すること。
- (7) 前日練習で入場した際に、大会当日用の観覧席の場所取りはしないこと。

#### 4. 大会当日について 84 チーム 334 名（男子：249 名、女子 85 名）の参加 団体・個人受付について

(1) 代表者が二次要項（この案内）の入っていた封筒を大会受付に持参すること。

郵送物：二次要項（この案内）・AD カード・棄権届・リレーオーダー変更用紙

※AD カードを忘れた場合当日再発行となります。（2 階受付にて申請）

再発行手数料：1 枚 500 円（税込）が必要となります。

(2) 受付は、入場希望者全員の「健康チェック表（入場者全員大会開催 3 日前からの検温必須）」を提出すること。提出しない場合は、入場出来ない。引率者（付添者）も同じ。

※「健康チェック表」は、必要枚数をコピーして使用すること。当協会のホームページからもダウンロードが可能。前日練習日と大会当日と 2 回の提出が必要です。

(3) プログラム・参加賞を受け取ることで受付完了とする。

(4) 会場内では全員が必ず AD カードを携帯すること。

(5) 大会関係者は毎日「健康チェック表」を提出すること。

#### 競技について

(1) 本競技会は、2022 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に準じて実施する。

(2) 競技はタイムレース決勝で行う。出発合図員の号令は、「take your mark(s)」で行う。

(3) 本大会では、バックストロークレッジを使用する。

(4) 水深は、1.4m（赤台無し）で競技を行う。

(5) 本人確認のため必ず AD カードを持参すること。AD カードにはスタート位置（台上・水中・台横）およびバックストロークレッジ使用の有無に○印を記入し（背泳ぎに出場しない選手は記載の必要なし）、常時携帯すること。

(6) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。

(7) 競技は 1～8 レーンで行う。なお、1～4 レーンは 1 レーン側から、5～8 レーンは 8 レーン側から退水すること。

#### 招集について

(1) 競技の進行は早めないで競技の進行状況を確認して招集に行くこと。

(2) 出場するレースの開始 10 分前から招集を開始する。各種目招集開始の通告を行う。それ以外の選手は招集所付近を含め、待機を禁止する。招集開始時間は、別途記載する。

(3) 招集に遅れた場合はいかなる場合でも失格（棄権）となり、競技に出場することが出来ない。

(4) 保護者・コーチの引率は原則招集所の受付までとする。招集員から名前を呼ばれたら所定の場所へ移動し、そこからは係りの者が誘導する。

※エントリー時に『介助必要』と申請した場合に限り、保護者・コーチがビブスを着用の上、スタート位置まで選手と入場することが出来る。

(5) 招集所にて水着の FINA マークの確認を行う。FINA 公認水着ではないものを着用の場合は、出場は認めないが日本身体障害者水泳連盟の記録の公認は認められない。順位からも除外される。

(6) マスクおよび AD カードは、レースの直前まで着用すること。

#### ウォーミングアップについて

(1) プールへの入場人数は特に制限しない。

(2) A 面、B 面、ダイビングプールを使用する。水深は全て 1.4m とする。

(3) A 面 0 レーンは常時ダッシュレーンとし、スタート側からの一方通行とする。

\*ダッシュをする際には必ず本人が並ぶこと。

(4) 0 レーン以外のレーンは周回レーンで利用すること。周回は左周り（右側通行）とし、ペースレーンは定めない。

- (5) 入水の際はスタート側より、レーンの右側より足から入水すること。
- (6) キックボード・プルバイ・フィンを使用できる。ただし、パドル・チューブ・シュノーケルの使用は事故防止のため、禁止とする。
- (7) 公式スタート練習【8：20～8：50】はスタート側からの一方通行としメインプール（A面）全レーンで行う。
- (8) 引率者のプールサイドへの入場は、1 チーム 2 名まで、参加選手が 20 名を超えるチームは最大 4 名までとする。

#### 競技中のウォーミングアップ・クーリングダウンについて

- (1) ダイビングプール（1.4m）は開会式、閉会式中を除き利用することができる。
- (2) ダイビングプールでの飛び込み及びホイッスル等の使用は禁止とする。
- (3) ダイビングプールは左周り（右側通行）の周回で利用すること。
- (4) キックボード・プルバイ・フィンを使用できる。ただし、パドル・チューブ・シュノーケルの使用は事故防止のため、禁止とする。
- (5) 泳力認定実施のため、12：00～13：00 はダイビングプールの 1 レーンは使用出来ない。

#### 表彰について

- (1) 出場選手全員に記録証・参加賞を授与する。
- (2) 種目別、男女別、グループ別上位 1～3 名にメダルを授与する。今年度は表彰式を行わないため、レース終了後、会場に貼り出された速報で確認し、該当選手は各自メダルの受渡し場所に取りに行くこと。※記録証・メダルの郵送は行わないため、各自留意すること。
- (3) 記念撮影用に表彰台を 2 階ロビーに設置する。撮影時は、絶対に密にならないこと。また、マスクを外す時間は最小限にすること。
- (4) 最優秀選手・男女別優秀選手に記念品を授与する。該当選手は閉会式にて発表する。
- (5) 記録証は、各自の全ての出場種目の終了後に発行する。（大会受付にて競技終了 10～15 分後から受け取る。）

#### 観覧について

- (1) 観覧席で飲食可とする。
- (2) 観覧席では毛布やレジャーシート等を敷いての利用は出来ない。
- (3) ストレッチスペースとして、観覧席後ろのスペースと使用を認める。長時間の利用および控え場所としての利用は出来ない。

#### 施設利用上の注意

- (1) プール利用規定により、競技・ウォーミングアップ等でプールに入水する場合、水着・帽子（スイミングキャップ）を必ず着用する。
- (2) 更衣室の使用はできるが、荷物は更衣室内に置いたままにしないこと。
- (3) 会場内は全て禁煙。
- (4) ゴミは各自で必ず持ち帰ること。
- (5) 施設内でのビデオや携帯電話等の充電は禁止とする。発見次第処分する。

#### 撮影許可について

観覧席での撮影はエントリー時に撮影許可証を購入した方のみ許可しますが、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の Web サイトやその他の公の場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。なお、会場 BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。

- (1) カメラ・ビデオ・ゲーム機・カメラ付き携帯電話等で撮影をする場合は、**撮影許可証**を必要とする。無断での撮影は記録媒体を没収する。

- (2) 申込者は、受付時に撮影許可証を撮影者が上腕に服の上から目立つように貼り付けること。

### 健康管理について

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、無理をせず体調に十分留意すること。
- (2) 大会当日の会場内における事故やケガ等においては、全て参加者側の責任で処置すること。但し、応急処置は行う。
- (3) 少しの無理が重大な事故を引き起こすこともある。体調不良を感じたら必ず棄権すること。
- (4) ①来場 72 時間以内のウィルス検査を行い、陰性を確認する。  
(陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要)  
※カメラ等で日付・時間表示し保存下さい。
- ② 市販の抗原検査キットについて、原則として医療用。※欠品時研究用代替え可
- ③濃厚接触者は、感染者と最終接触した日を0日として2日目および3日目に薬事承認された抗原定性検査キットを用いた検査（\*こちらは研究用は不可です）を行い、2日目、3日目の結果が陰性であれば、3日目の陰性が確認できた時点から競技への参加を可能とする。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは地方自治体の方針に従う。

### その他

- (1) 本大会の忘れ物は、競技期間中に限り大会受付で保管する。大会終了後 1 週間は保管する。
- (2) 申込書に記載された個人情報については競技会のプログラム・ランキング作成を含み、競技会運営を円滑に行うために必要なものだけを使用し、その他の目的に使用、提供はしない。
- (3) 大会終了後、(一社)日本知的障害者水泳連盟及び東洋電子システムのホームページにてランキングを掲載する。
- (4) 棄権届は、招集所に提出すること。大会前日までに棄権を決め、大会当日に来場しない場合は、メールまたは電話にて当協会まで連絡すること。
- (5) 万一来場、会場内の救護所、AED 設置箇所及び非常口は各自確認すること。
- (6) 立入禁止エリアには絶対に入らないこと。
- (7) 新型コロナウイルスの感染対策の為、監督者会議は行わない。二次要項を確認すること。
- (8) 本大会は WPS 公認大会のため、ドーピング検査（尿検査）を行います。ドーピング検査の対象になった方は、検査に時間がかかる場合があります。お帰りの時間は余裕を持ってお越し下さい。帰りの交通を理由に検査を受けなかった場合はドーピング違反となりますので注意してください。
- (9) メディア各社による本大会の報道・記事掲載がなされる可能性があります。
- (10) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、急遽、大会の開催を中止することがある。中止が決定した際は、当協会のホームページにてお知らせする。
- (11) 本大会は(公財)日本水泳連盟「水泳競技会再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を元に運営する。[https://swim.or.jp/committee\\_news/7424/](https://swim.or.jp/committee_news/7424/)
- (12) YouTube にてライブ配信を行う。最小帯同人数でのご来場にご協力ください。
- \*当日は、下記の QR コードよりご視聴できます。

【ライブ配信 QR コード】



【問合せ先】

(一社)日本スイミングクラブ協会事務局 (担当: 澤)  
電話番号: 03-3511-1552 (受付時間: 平日 10 時~18 時)  
メールアドレス: [jscapidc@gmail.com](mailto:jscapidc@gmail.com)  
※大会前日、当日の緊急連絡先: 090-1111-0293